

第4 各種交通事故防止対策

31 飲酒絡み事故防止対策

1 飲酒運転根絶対策

県警察では、飲酒絡みの事故を防止し、飲酒運転の根絶を図るため、飲酒運転取締りを強化するとともに、平成21年10月に施行された「沖縄県飲酒運転根絶条例」に基づき、

- 事業所等の自主取組みの支援に向けた「飲酒運転根絶に関する覚書」の締結
- 公務員・市町村議会の自主的取組みの支援
- 自治体、飲食店、家庭等と連携した「ハンドルキーパー運動」の推進
- 高校生に対する飲酒運転根絶に特化した交通安全教育
- 飲酒運転根絶県民大会の実施
- 「飲酒運転の根絶運動の日」(毎月1日)における取組

等関係機関・団体と連携して各種取組を推進しております。



【飲酒運転根絶宣言決議の審議】



【居酒屋と連携したハンドルキーパー運動】



【高校生に対する交通安全講話】



【飲酒運転根絶県民大会】

2 沖縄県飲酒運転根絶条例～平成 21 年 10 月 1 日施行

飲酒運転の根絶を図るためには、「沖縄県飲酒運転根絶条例」の制定趣旨にもありますように、県民ひとり一人が「飲酒運転をしない させない 許さない」社会環境の醸成に向けた取組が重要です。

沖縄県酒運転根絶条例骨子

この条例は、県及び県民等が一体となって飲酒運転の根絶を図り、飲酒運転のない安全で安心な県民生活を実現することを目的とします。

- 県民は家庭や地域、職場で飲酒運転根絶の取り組みに努める
- 公職にある者は範を示すべき立場を深く自覚し、飲酒運転根絶に率先して取り組む
- 事業者は従業員に対し、飲酒運転根絶に関する教育、指導その他必要な措置を講ずるよう努める
- 飲食店、駐車場所所有者は、飲酒運転防止呼び掛けの文書掲示に努める
- 公安委員会は、再発防止の措置として飲酒運転をした者や、その者に酒類提供した飲食店等に対し必要な措置を講ずるものとする
- 県は、飲酒運転をした者及びその家族等からの相談に対して、再発防止のための助言その他必要な措置を講ずるものとする
- 公安委員会は、飲酒運転事故件数や違反者数などの情報を市町村別に作成し、インターネットなどで公表できる
- 県は、総合的な施策推進の基本方針を策定。
- 根絶運動の日を毎月 1 日と定める

3 アルコールに関する正しい知識を！

- アルコールの処理にかかる時間
体内でのアルコールの処理は体重 1 kgにつき、1 時間で 0.1 グラムという速度です。たとえば体重 60 kg の人がアルコール 20 グラムを処理するには 3～4 時間かかります。これはあくまでも目安です。日頃から飲み過ぎがたたって肝臓が弱っていたり、風邪薬を飲んでいたりすると、アルコールの処理はもっと時間がかかるかもしれません。

一晩寝たから大丈夫、ではとおけません！

知っていますか？二日酔い

それぞれのアルコール **1 単位** の目安



チュウハイ
350ml
1 単位

泡盛
100ml
1 単位

ビール
500ml
1 単位



1 単位のアルコールが抜ける(分解される)には、約 4 時間かかります。

左のように 3 単位飲むと...

酒酔い運転
免許取消し (欠格期間 3 年)

酒気帯び運転
0.15～0.25 mg/ℓ 免許停止 90 日
0.25 mg/ℓ 以上 免許取消し (欠格期間 2 年)

お酒を飲むときは翌日の仕事を考えて、寝ている間にアルコールが分解される適度の量を飲みましょう。

睡眠 8 時間

アルコールは徐々に分解



8 時間寝たからといってアルコールが身体で分解されるのは 2 単位分です。

つまり翌朝は **1 単位残っている二日酔い状態**なのです。

沖縄県・沖縄県警察・沖縄県交通安全協会連合会・飲酒運転根絶連絡協議会・飲酒運転撲滅の会